

病院だより ③

健康チエック

乳がん検診は受けられていますか？

美祢市立病院副院長

本間 喜一



乳がんについて

女性のがんのうちで、乳がんは大腸がんとともに最も多くかかるといわれています。日本の平成13年の乳がん患者数は40、675人で、全がん患者の16・7%を占めています。アメリカ合衆国では平成14年、女性で乳がん患者は全がん患者の30・4%を占め、日本の約2倍の比率です。日本でも今後乳がんが増え、アメリカの比率に近づくとわれています。

また乳がんの死亡数は、女性では大腸がん、胃がん、肺がんについて第4位ですが今

後さらに増えるといわれています。

乳がんの診断状況について

乳がんは腫瘍触知（自分で乳房のしこりに気づくこと）で病院を受診し診断される例が大部分で、検診で診断されることは徐々に増えています。がまだまだ少ないのが現状です。この要因として、検診の受診率の異常な低さが考えられます。欧米諸国では検診の受診率が70%なのに対して、日本では17・6%にとどまっています。

乳がん検診について

平成16年より、40歳以上の女性を対象に、乳がん検診はそれまでの視触診のみから、視触診+マンモグラフィに変更されました。すなわち、医師が乳房を視て（見て）、触って、さらにレントゲン撮影を行う検診になっています。美祢市立病院でも、平成16

年より、このマンモグラフィをつかう検診を開始しました。検診に適合した放射線撮影装置を購入し、撮影を行う技師2人、マンモグラフィを見て、診断する医師3人に資格をとらせ、さらにマンモグラフィ検診施設認定も受け、診断の質の向上に努めています。

しかし、美祢市の乳がん検診の受診率は、2・5%と山口県を受診率16・6%とくらべても異常な低さです。これは美祢市立病院まで行かなければ検診を受けられない、休日・夜間に検診が受けられない、住民の意識の低さなどが要因だと思われます。

乳がんになりやすい女性とは

- ① 40歳以上（特に45～49歳）
- ② 30歳以上の未婚、授乳歴のない女性
- ③ 初産年齢が30歳以上か、出産歴のない女性
- ④ 初潮年齢が早い女性
- ⑤ 閉経年齢が遅い女性（55歳以上）
- ⑥ 肥満・標準体重より20%以上肥った女性
- ⑦ 近親者に乳がんにかかった人がいる女性

- ⑧ 飲酒習慣のある女性
- ①～⑧にあてはまる女性は特に気をつけて検診を受けましょう。

もし、乳房に症状があればどうしたらよいか

気になる症状（しこりに触れる、乳首から分泌物が出る、乳房全体がはれて痛い、左右差がある、乳首が急に陥没したなど）があれば、速やかに外科を受診してください。病院では、マンモグラフィ、超音波検査（エコー検査）、場合によっては針生検（注射針で異常な部分の細胞をとる検査）を2時間以内で行うことが可能です。

また検診で、「要精査」の返事が来た人も、同様に外科を受診してください。超音波、針生検などの精密検査を行います。

乳がん検診の申込について

対象の女性（40歳以上で、前年度未受診の女性、市役所から通知が来ます）は、美祢市立病院に直接申し込んで予約をしてください。

月・金曜日は午前のみ、火・水・木曜日は午前・午後とも受診できます。

対象の年度ではないが気になる場合や40歳未満の女性の場合、外科外来を受診していただければ、検診はいつでも行います。

特に気を付けて欲しいこと

乳房のしこりに気づいたらすぐ病院を受診してください。検診の時期がくるまで待たないようにしてください。手遅れになり、命を失う恐れがあります。

マンモグラフィ検査



問合せ先 美祢市立病院
（☎0837-521700）

まちがど ホットライン

森林をもっと身近に〜美秋木材まつり



11月23日、カルスト森林組合、美祿労働者総合福祉センター周辺で美秋木材まつりが行われました。

この日は、トンカチ教室や木の実クラフト、木の葉クラフト、竹細工教室などの森の体験工房や、樹の種類による木の実や葉っぱの違いの紹介や、森の働きや川に暮らす生き物についてクイズで楽しく学ぶ「森と水の学校」などの催しが行われました。

そのほか、先着100人に秋山の幸がたっぷり入った「あさぎり汁」のプレゼントや午前と午後の2回、もちまきが行われ参加者は楽しいひとときを過ごしていました。

そば粉を地域の高齢者にプレゼント



12月2日、淳美小学校の5年生22人が総合的な学習の一環として、栽培したそばを地域の一人暮らしの高齢者にプレゼントするために、そばの製粉、袋詰め作業を行いました。児童たちは、そばの実を製粉した後、そば粉をビニール袋に入れ、200g入りの袋を44個作りました。そば粉は児童たちの書いた手紙を添えて、高齢者に配られました。

このそばは、児童たちが夏休みの登校日に種まきをし、11月に収穫・脱穀を行いました。残りのそばは、12月中にそば打ちを行い、みんなで食べるそうです。

第29回消火競技大会



11月30日、美祿市民会館、美祿市役所駐車場で、防火意識の高揚と火災発生時の通報や消火などの初期活動技術の向上を図るために、第29回消火競技大会が行われ、事業所の部に24チーム、女性団体・少年消防クラブの部に20チームが参加しました。

女性団体・少年消防クラブの部では、通報担当者が電話で出火場所、目標、燃えている状況などを通報した後、天ぷら鍋火災やストーブ火災を消火し、バケツリレーで標的注水板に注水しました。

参加した皆さんは、火災時の通報要領や初期消火の手順を確認しながら競技に参加していました。

おもいっきり美東体感塾 餅つき体験



12月14日、桂岩ふれあいセンターでおもいっきり美東体感塾が行われ、防府市や宇部市などから28人が参加しました。

この日は体感塾で春に田植えをし、秋に収穫した30kgのもち米を使っておもちをつきました。

昔ながらの臼や杵を使って、みかんの皮やむらさき芋、大根の葉などを用いた色々なおもちをつきました。

子どもたちにとって杵は少し重たかったようですが、大人の人に手伝ってもらって、一生懸命におもちをついていました。ついたおもちは昼食に食べたり、お土産として持って帰りました。